

# いちき串木野市郷土史料集 ①

「民話・祭り編」

今日の土俵で ヨーホホイ

愛し思いを胸に秘め

船は出て行く島平港 黒潮うずまく紀州灘

別れて行くは西東 今日も暮れ行く南海の

鷗飛び交う波の瀬に 可愛いあの子の片えくぼ

青い月見りや思い出す 激浪波浪もなんのその

険ににじむ露の玉 入港のその時は

薩摩男児の意気晴れて 帰りますゾエー

きつと大漁で

島平青年その中で

此処に揃いし踊り児衆は 雨風潮にたたかれて

一番きれいな体持ち ふだん剛気の勇ありて

肌は赤銅さながらに その娘さんよく見とけ

強いようでも気はやさし

いちき串木野市郷土史料集「民話・祭り編」

島平港の 船の名称呼べばヨー

宝の宝栄が

恵比寿大黒 その恵受けて

あまねく大洋南海に

春風満帆の天春と 笑顔で帰る笑福や

拓きて進む南進よ 笑顔で帰る笑福や

福で栄える福栄に

其の意気盛んな福盛丸 福で栄える福栄に

松は緑の松栄や 薩摩印の松源や

福を寿ぐ福寿丸 喜び多き多賀丸と

郷土の栄え長久に 喜び多き多賀丸と

鷗もしたろ千鳥丸 願いを込めて此の甚句

揃た船船大漁の 歌いますゾエー

力士一同はヨーホホイ 歌いますゾエー

夢かうつつか さてまぼろしかヨー

寝ても覚めても苦勞さす 怪我さえなけりやヨー

船乗りさんには ところが良くてほれたヨー

仕事帰りの意気のよさ 相撲にや負けてやる

晩は私が負けてやる ゼニスの沖で

逢えば瀬なんだか 櫓太鼓にふと目を覚ましヨー